

学校番号	2004
------	------

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語表現の授業は座学ではなく、平常点重視の実技科目だと考えよう。ここでは、書く力や話す力が身に付く。実技科目に近いので、欠席しないことも重要だ。毎回の授業で与えられた課題にしっかり取り組もう。

また、副教材の「国語常識の総演習」を毎回の宿題とするので、忘れないようにすること。一年間やりきった後に身につく漢字や知識は社会に出てから役に立つ力だ。

2 学習の到達目標

- ・漢字、語彙、国語常識など、基礎学力を養う。
- ・正しい表現を使って文章を作成できるようになる。
- ・人に説明し、自らの考えを伝える力を養う。
- ・映像コンテンツなどから、多様な生き方、考え方を学ぶ。
- ・短歌や新聞づくりなど、作品を仕上げる上でレイアウトや構図を工夫する力を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	宿題を提出し、学習し、身に着けたか。授業に積極的に参加し、表現活動を行えたか。	スピーチや新聞作成で工夫を凝らして課題に取り組めたか。	ことばを使って様々な表現活動を行う。意見文・小論文・韻文・鑑賞文・物語などをかけたか。	国語の常識や語彙に関する知識を増やし、意味や使用方法を理解することができたか。
評価方法	行動の観察(授業中の態度や発言等)・小テスト・提出物(ノート・小論文・ワークプリントなど)	発表・作品提出・グループワークの取り組み方など。	提出物の添削(ノート・小論文・ワークプリント・作品など)	・国語常識の総演習 ・定期考查

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学 期 中 間	価 値 觀 に つ い て	・さまざまな価値観を知り、(価値観プリント記入、集計、将来像)将来の自分について考える。 ・先輩たちの生き方(DVD、インタビュー)から学ぶ。 ・ことばの持つ力(DVD「ことばの力」)について考え、書く。	○	○	○	○	a : 授業の中で考えたことを話し合うことができる。人生の先輩へのインタビューを行う。 b : 話し合ったことを発表し、聞くことができる。 c : 生き方や、ことばの力についての自分の経験や考えを書くことができる。 d : 宿題などを提出している。	行動の観察・提出チェックなど
1学 期 期 末	小論文・自己PR文	・自分の意見と根拠をまとめる ・時事問題などについて賛成・反対などの立場を示す ・ワークを使い文のねじれなど訂正していく ・600字程度で、自分の長所・短所などを紹介する文を書く	○		○	○	a: 現代社会の諸問題について調べ自分なりに考えようとしている。 c: 自分の意見とその反論について知り、まとめ記述できている。 d:宿題などを提出している。	作文添削・行動の観察など
2学 期 中 間	説明シリーズ	・図や地図から説明する文章を作る ・道案内、物の形を伝える、料理の手順などの題材で説明する力を身につける。	○	○		○	a : 積極的に説明の順序など、基本的な説明の技術を身につけようとしている。 b : 互いに説明をして、わかりやすい文章が確認する。 d : 宿題の提出	説明文の添削・ペアワークなど
2学 期 期 末	3分間スピーチシリーズ	・自分の趣味や特技、または将来の夢など、題材を自由とし、クラスの前で発表する。	○	○	○	○	a : スピーチの手法について積極的に学び、意欲的に練習に取り組んでいる。 b : 授業のクラスでスピーチをして、内容、暗唱、声の大きさなどを総合して説得力をもつた演説になっている。 c : 観客をひきつける工夫(ジエスチャー・道具の使用など)がされている。 d : 宿題の提出	スピーチ発表・相互評価

※令和3年度以前入学生用

3 学 期	思 い 出 新 聞 シ リ ー ズ	・高校生活を振り返って、趣味や部活動や将来の夢などを新聞にして紹介する。 ・見出しやレイアウトなど、実際の新聞を参考にして、わかりやすい文を書く。	<input type="radio"/>	a : 新聞に関する構成や約束事を意欲的に吸収している。 b : レイアウトや構成に工夫が見られる。 c : 限られたスペースで自分のことを端的にわかりやすく説明する。 e : 新聞の歴史や種類を知る。	新聞の提出・記事の添削				
-------------	---	--	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	--	-------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現

c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。